

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 12 日

事務事業名		原方集会所運営事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020303000606	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090601	
政策体系	総合計画の施策名	0203 青少年の健全育成				主要事業			生涯学習課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト				
	施策名	03 青少年の健全育成				未来PJ事業		グループ	生涯学習G	
	手段名	03 ③地域教育力の充実				合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	05	01	03	00	地域改善対策事業			
法令根拠							単年度繰返し (年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 原方集会所設置及び管理に関する条例 (条例第83条) に基づき、運営委員会を設置。運営委員の定数は10名以内とし、原方区長、亀熊区長、市議会文教厚生常任委員長、有識者、榊穂小学校長、榊穂小PTA会長、桜川中学校長、桜川中PTA会長、で構成している。(年1回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 原方集会所運営委員会の事務全般 開放事業に関する事務全般 施設の維持管理業務 光熱費等の支払い事務 消防点検結果受理業務 管理人への賃金支払い事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 集会所の一般開放 (地域住民への一般開放)、夏期休業中の児童生徒対象の開放などの利用促進、及び施設の管理、安全点検など施設管理全般を行う。 	会議回数	回	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	利用日数	日	7.00	11.00	11.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
市民	人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
施設の利用を広く周知し、利用しやすくする。	利用者数	人	134.00	112.00	112.00	140.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移			28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
			(実績)	(実績)	(計画)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	336	336	336	0
	事業費計 (A)	千円	336	336	336	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	102.00	100.00	100.00		
	人件費計 (B)	千円	298	293	293		
トータルコスト (A) + (B)			千円	634	629	629	

29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
01 報酬	21		01 報酬	21	
07 賃金	84		07 賃金	84	
11 需用費	153		11 需用費	153	
12 役務費	5		12 役務費	5	
13 委託料	73		13 委託料	73	
合計			合計		
336			336		

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	原方集会所運営事業	事務事業No.	20303000606	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

- ・同和対策事業の一環として、人権教育の啓蒙・啓発事業を円滑に推進するため、旧真壁町で集会所を設置した。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・同和問題に関する知識をより深めていくよう要望がある。
- ・運営委員より駐車場の設備があるとの意見がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> ・差別や偏見のない明るい社会を築いていこうとする意識を醸成することは、人権という文化が根付き、人権教育の推進に資する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> ・国連において「世界人権宣言」が採択され、国の法令、県の人権施策推進基本計画により地方公共団体の責務が明確になっており、行政として施策を行う必要がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・集会所がある原方地区には地区会館もあり、地域住民は主に会館のほうを利用している状況から、現在以上の利用増加は難しいが、中学校部活のミーティングやスポーツ少年団での利用など、地域に即した利用はされている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> ・法令などによって、地方公共団体の責務が明確になっていることから、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・類似事業や統廃合の可能性はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・現在限られた予算で施設を管理している。施設も老朽化しており、近年修繕箇所の増えてきているため、事業費の削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象としており、立地的に地域住民及び近隣小中学校での利用が妥当であるため、適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・原方集会所運営委員より利用増加を図るには駐車場の整備が必要との意見があったが、近隣の土地空き地状況を踏まえると、駐車場の整備は難しい。 ・現在の利用状況については、近隣の小中学校の学校行事やPTA活動、及び地域のスポーツ少年団が利用していることから、地域に即した利用がされている。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○																										
低下	維持																												
	低下																												

(6) 事務事業優先度評価結果
成果優先度評価結果
コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>